

# 第3回 大阪移行期医療 研修会 報告

「大阪における先天性心疾患の移行期医療を考える！第2弾」

# 研修会を通じた成人診療科との仲間作り

大阪府移行期医療支援センター と 大阪のACHD関係者と一緒に作成

<プログラム委員>

・大阪府移行期医療支援センター

高橋邦彦、位田忍、田家由美子、植田麻実

大阪府移行期医療推進会議

(成人診療科) 花房俊昭 (小児診療科) 白石公、松下享

・ACHD学会関連

(小児) 萱谷太、江原英治 (成人) 塚本泰正 (CHD看護) 笹川みちる、吉田佳織

・大阪府

上梶真由美

<後援>

大阪府医師会、大阪小児科医会

大阪府看護協会、大阪ハートクラブ

# 研修会の目的

第1弾はACHDの現状の共通理解と病病連携、病態を本人へいつ伝えるか  
第2弾今回は、地域の総合病院、かかりつけ医にどう繋いでいくか  
大人になり「生活」を考えた時にどういう大阪の医療体制を構築できるか

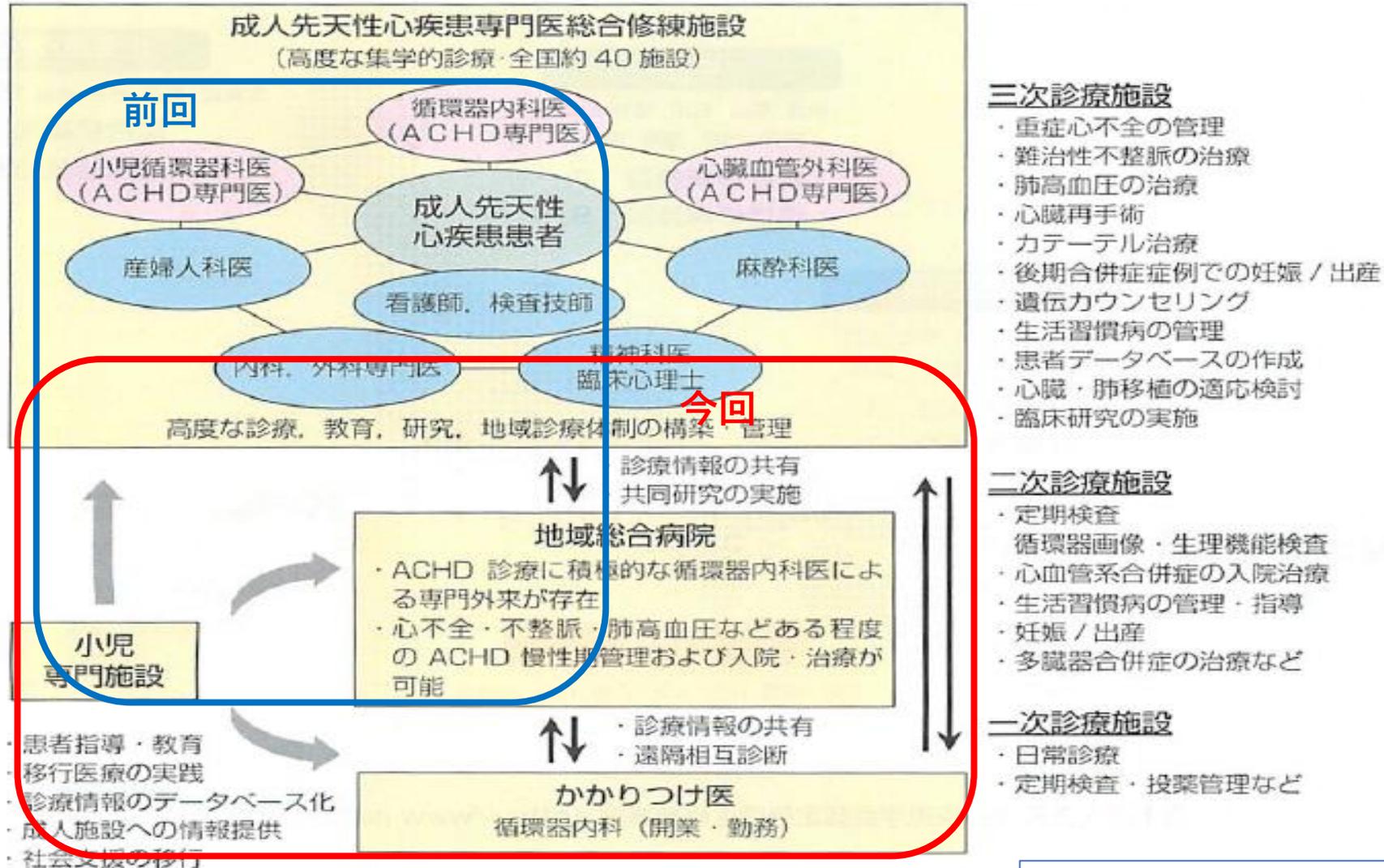


図2 ACHD 診療体制 (ネットワーク)

先天性心疾患の成人への移行期医療に関する提言より抜粋

# 研修会の目的

第1弾はACHDの現状の共通理解と病病連携、病態を本人へいつ伝えるか  
 第2弾である今回は、地域の総合病院、かかりつけ医にどう繋いでいくか  
 大人になり「生活」を考えた時にどういう大阪の医療体制を構築できるか

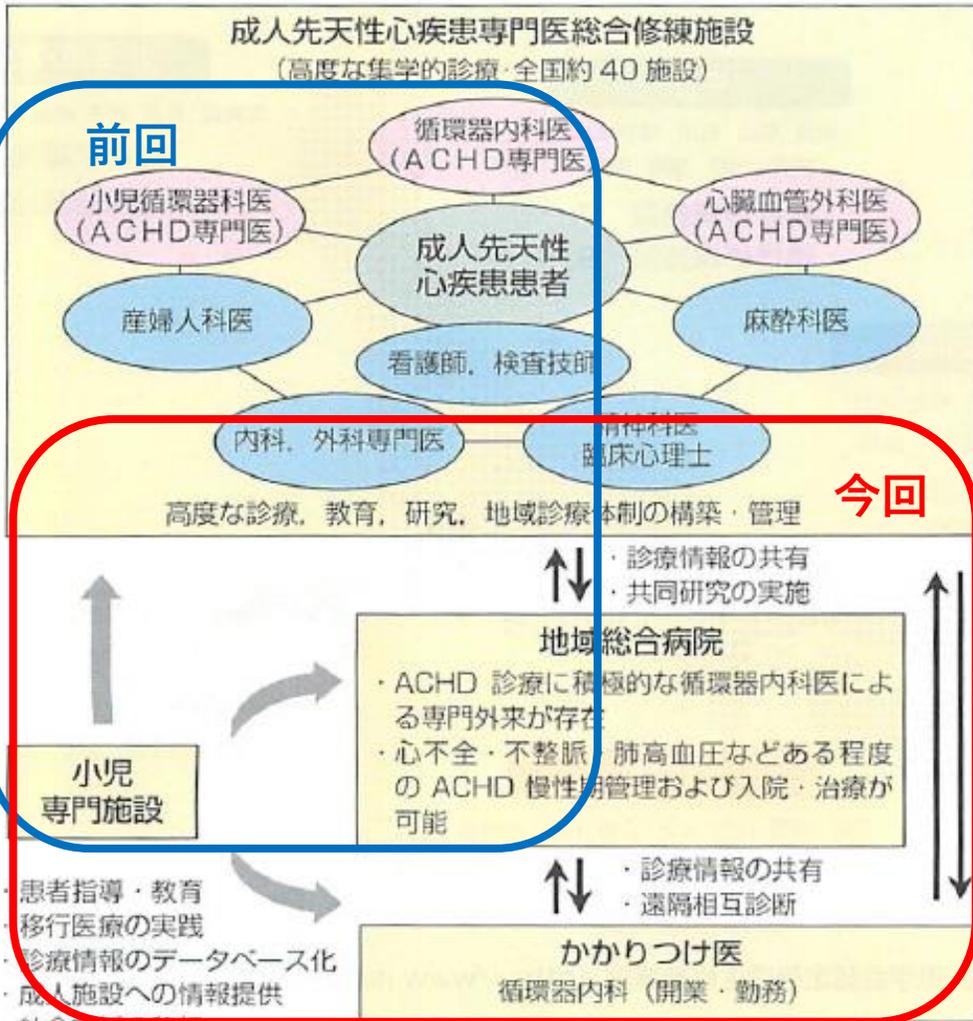


図2 ACHD診療体制(ネットワーク)

先天性心疾患の成人への移行期医療に関する提言より抜粋

# プログラム

## 開会の挨拶と研修会のねらい

大阪府移行期医療支援センター 位田 忍

## 先天性心疾患と移行期医療

国立循環器病研究センター 白石 公

## 小児科から内科へ、内科から地域へ ～現状と課題、展望

大阪医科薬科大学 循環器内科 星賀 正明

## 地域医療の立場から考える小児科開業医の役割

オリオノクリニック 黒飛 俊二

## 地域における移行期医療の現状と課題

### -在宅医(成人診療科)の立場から考える-

のぞみハートクリニック 岡田 健一郎

## ディスカッション

## 地域と基幹病院の連携強化のために、いま何をすべきか？

司会：国立循環器病研究センター 塚本 泰正

## 閉会の挨拶

堺市立総合医療センター 花房 俊昭

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

2021年9月4日（土） 15:00~17:00

- 後援

大阪府医師会  
大阪小児科医会  
大阪府看護協会  
大阪ハートクラブ

- 宣伝

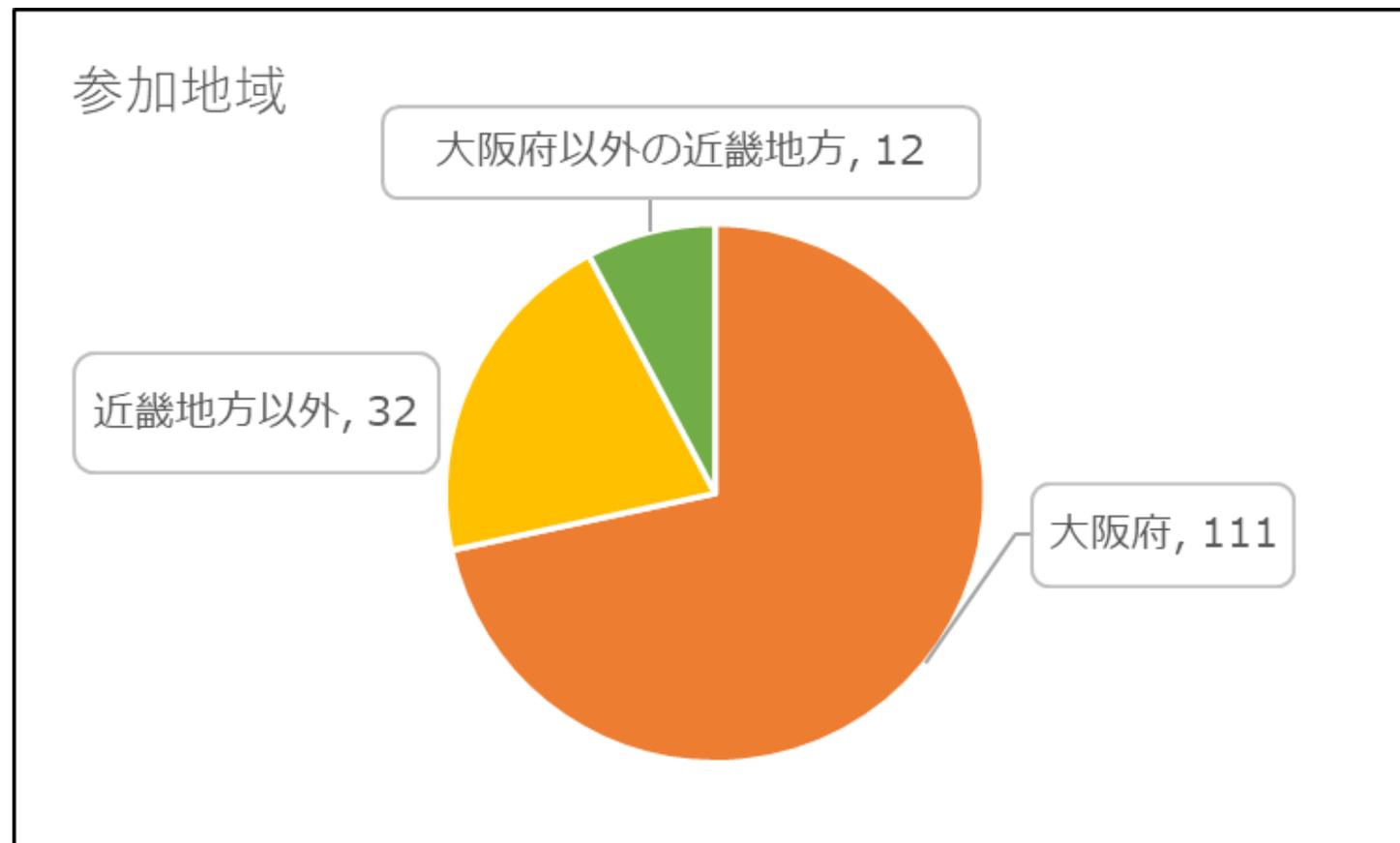
JEECCS

- 開催方法

Web形式

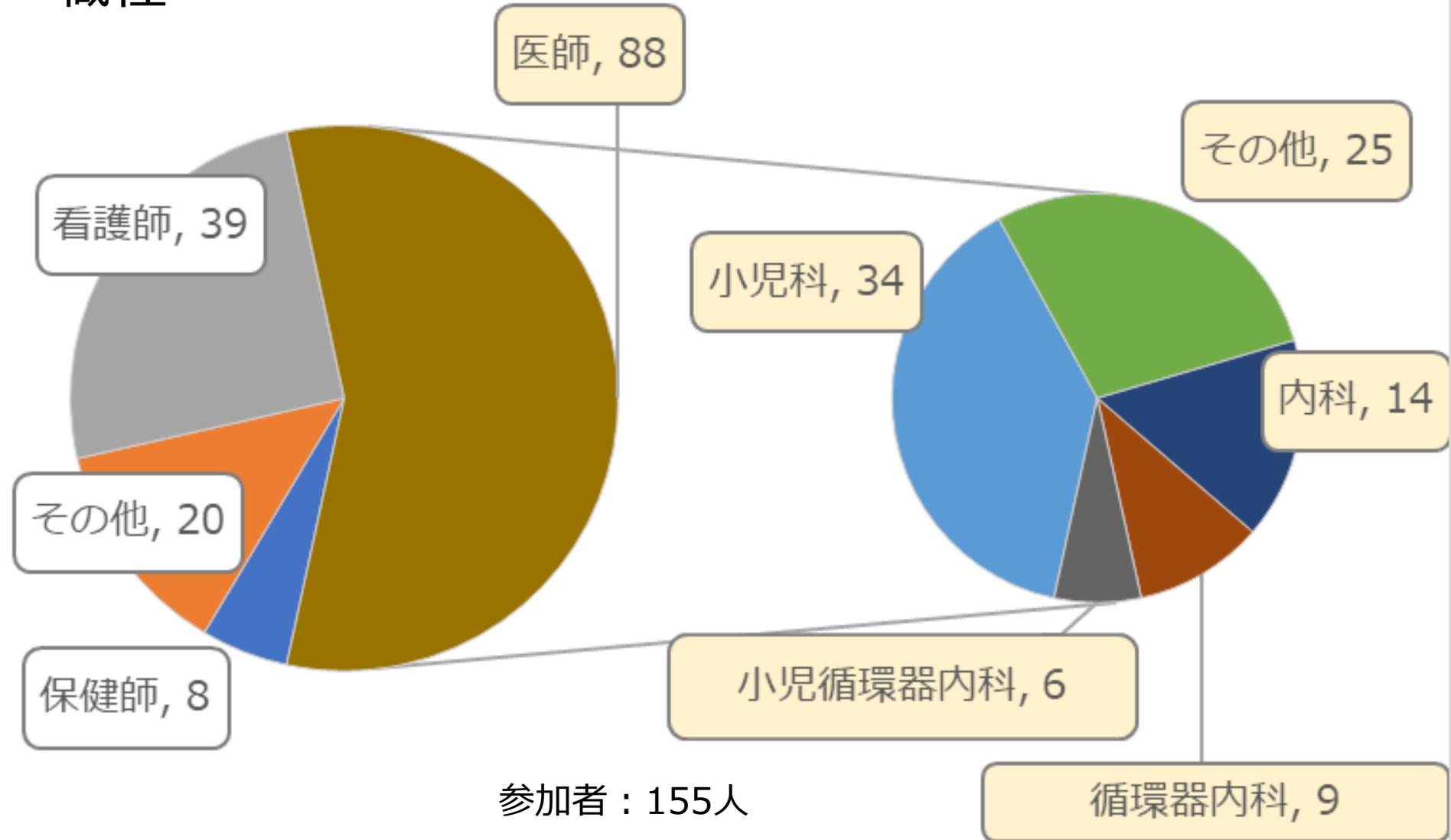
- 事前登録者：213名

- 当日参加者：155名



# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

## 職種



# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

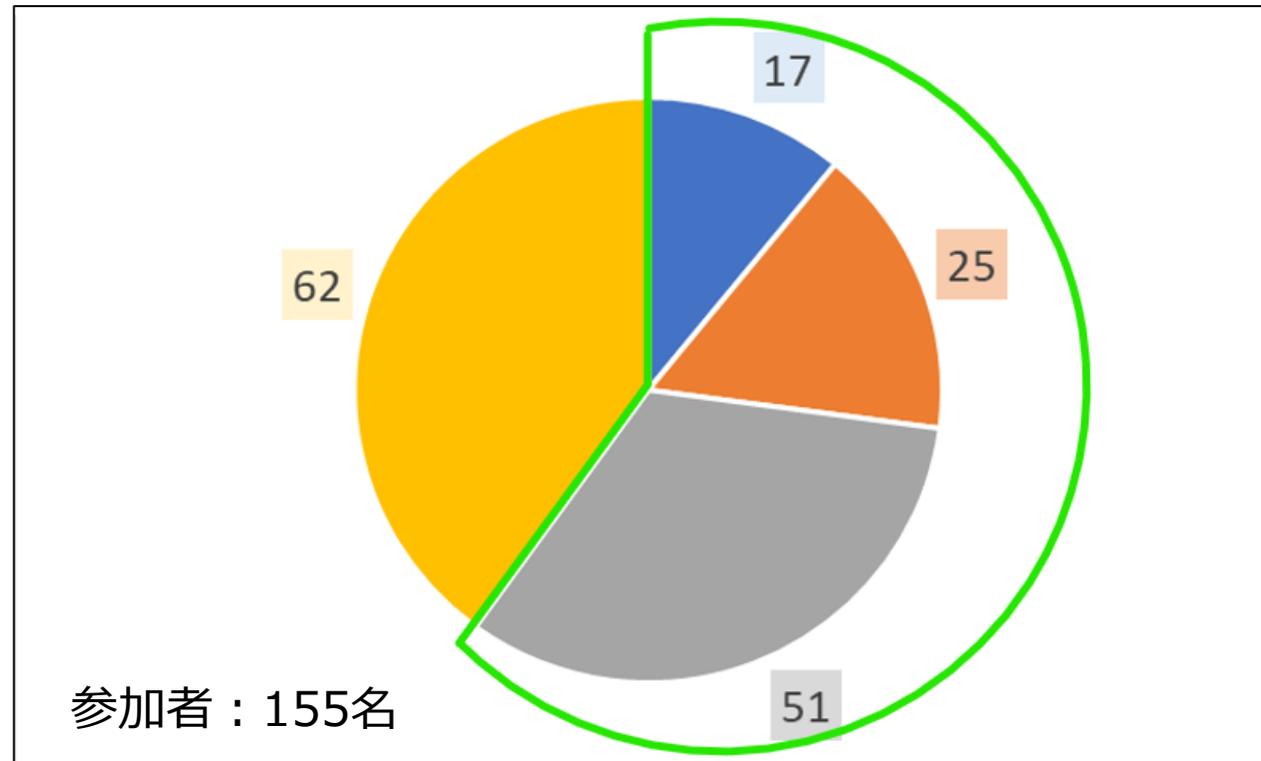
何回目の参加ですか？

第1回「大阪における先天性心疾患の移行期医療を考える！」

第1回「大阪における先天性心疾患の移行期医療を考える！」，第2回「大阪における成人ダウン症患者の移行期医療を考える！」

第2回「大阪における成人ダウン症患者の移行期医療を考える！」

初参加

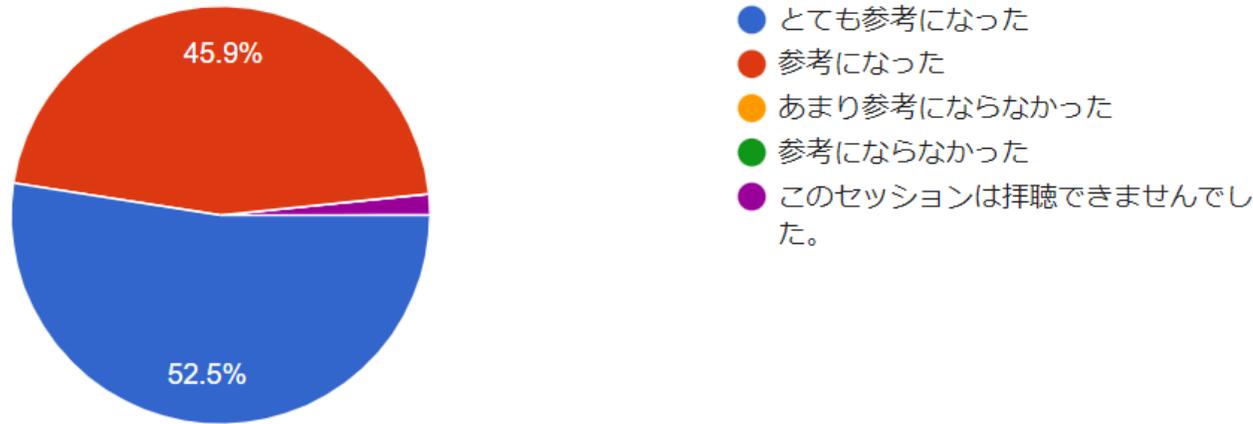


60%がリピータ

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

イントロダクション：移行期医療について（白石先生・位田先生）

61 件の回答



イントロダクション：移行期医療について（白石先生・位田先生）、ご意見・ご感想などがあればご記入下さい

4 件の回答

なぜ移行期医療という分野が必要なのか、問題点は何か（移行しづらい理由）をもう少し詰めていただければ。

大変勉強になりました

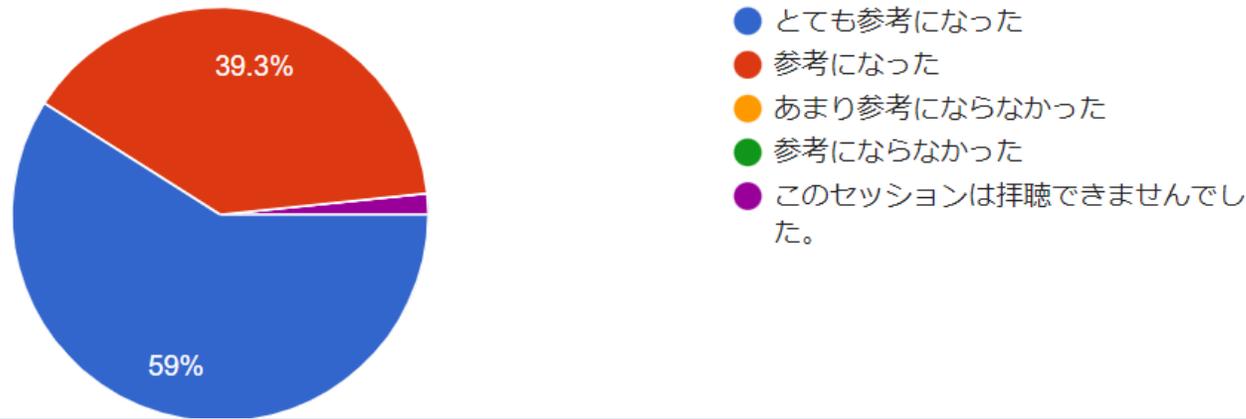
大阪府の移行医療の全容を理解できました。今後も行政と連携した取り組みの内容について、ご発信いただけると幸いです。医師以外の職種はなかなか行政とコラボレーションする話がないので・・・

まず、基本的な内容のご講演があったことで、後続く内容の理解につながった。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

講演①先天性心疾患の移行期医療：小児科から内科へ、内科から地域へ～現状と課題、展望  
(星賀先生) について

61 件の回答



講演①先天性心疾患の移行期医療：小児科から内科へ、内科から地域へ～現状と課題、展望（星賀先生）について、ご意見・ご感想等があればご記入下さい

5 件の回答

小児科と内科がタッグを組んで診療していける体制が、羨ましいと思うと同時に、もっとこのような体制が広まっていけば移行期にいる患者の不安を軽減出来るはずと感じました。

分野によってはこのように小児科と内科の両方にまたがって研修が組まれていたらいいなと思った。

内科と小児科の併科で受診をしていく方法が、もっと広がっていくとよいと思いました。

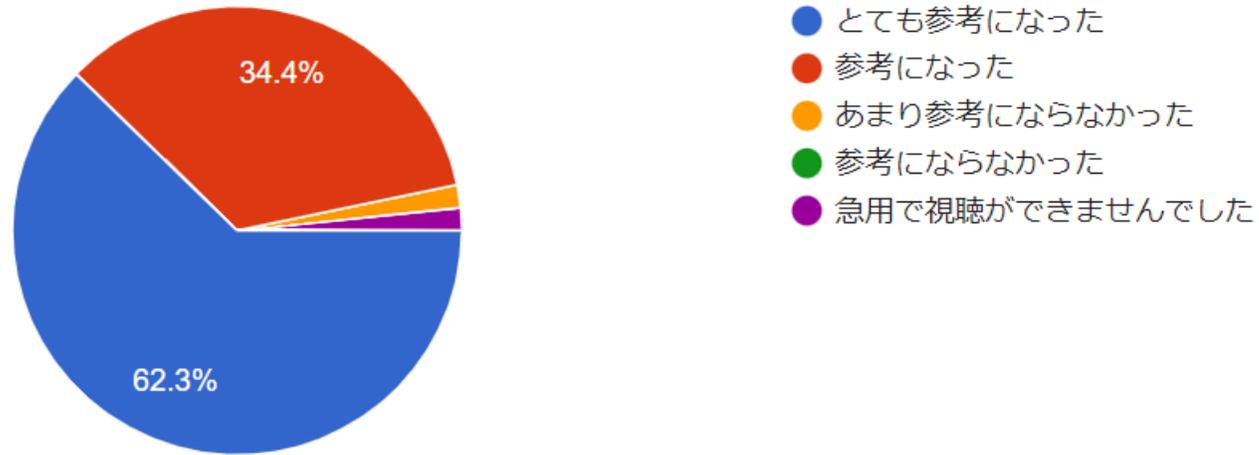
ハートノートを知らなかったので勉強になりました。訪問時に持っている方がいれば一緒に見て、安心してご自宅で生活できる一助としたいと思いました。

教育の取り組みについて興味深かった。学部学生へのCHD関連の授業内容の詳細を知りたいと思います。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

講演②地域医療の立場から考える小児科開業医の役割（黒飛先生）の内容について

61 件の回答



講演②地域医療の立場から考える小児科開業医の役割（黒飛先生）の内容についてご意見・ご感想等あればご記入ください

7 件の回答

地域の実状がよく分かりました。課題も多くあるため、もっと地域医療と連携や勉強会などが必要と感じました。

開業医の視点からの内容はとても新鮮でおもしろかったです

内科外来と小児科外来の診察スペースを分けているのが、患者さんにとって受診しやすい環境を作られていると思いました。

とても興味深く、医療ケア児の訪問診療を行っているクリニックのことをもっと知りたくなりました。

コロナ下で急性期の患者さんが激減した小児科の診療携帯の転換の模索についてのお話は大変興味深く拝見しました。移行期以前の初期診療を扱う医療機関がなくなるのは危惧されるところです。その意味で小児の耳鼻科受診の問題を質問させていただきました。内科と小児科の併設のお話も初めて興味深く拝聴しました。

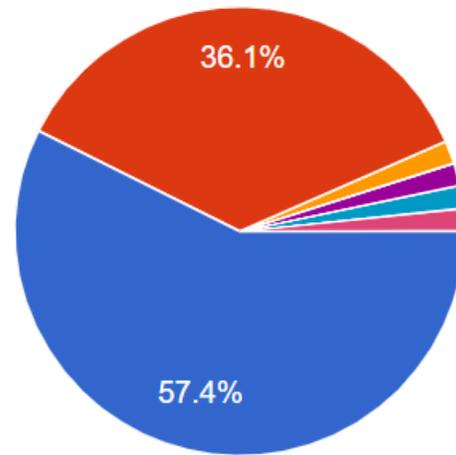
黒飛先生の淡々としたご説明が分かりやすかったです。

普段、身近にあるのが大学病院のため、地域医療の中心となるクリニックの活動を知る良い機会となった。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

講演③ 地域医療における移行期医療の現状と課題ー在宅医（成人診療科）の立場から考えるー（岡田先生）の内容について

61件の回答



- とても参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった
- 急用で視聴できませんでした
- 他の講演会と重なり拝聴出来なかった
- 途中退席となり、聴講できておりません。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

講演③ 地域医療における移行期医療の現状と課題—在宅医（成人診療科）の立場から考える—（岡田先生）の内容について、ご意見・ご感想等あればご記入ください

9 件の回答

ACHDでは脳卒中や認知症へのリスクが高いとのことが大変興味深かった。

成人の在宅医療と根本的に違うところが分かりやすかったです。小児でも子供が理解が出来る年齢なら、早い段階でどうしたいかを一緒に考えていってもいいのではないかと思います。

中々出来ませんよね

私は大学病院に勤務しながら、訪問診療を行っており内科の先生の外来へ週1回 お手伝いに行っています。発表内容をお聞きし、小児の訪問診療への取り掛かりになりそうです。ありがとうございました。

患者さんの希望、ニーズを充分把握し、カンファレンスを丁寧にされたからこそその在宅医療移行と思いました。

当院周辺にもこんなに親身になってくれる在宅医がいればなあと思いました。地域の（特に成人診療科）医師と連携をとる機会が全く無いので、現状について知れて勉強になりました。

在宅で生活する成人先天性心疾患の方へ、多職種と連携しながら個別性の高いケアを提供されていることを知り、今後、このようなケアの形が広がれば、より安心して地域での生活を送ることができると感じました。顔の見える関係構築の重要性を改めて認識しました。

訪問看護をしていく中で日々いろいろな問題に直面し試行錯誤し看護しています。岡田先生のような在宅の先生が多くなることを願いました。

このような企画では、小児診療・看護だけでなく、成人診療の立場から、成人診療に携わる医療者の講演をお聴きできることはとても意義があると思います。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

ディスカッションの内容について

61件の回答



ディスカッションについて、ご意見・ご感想等あればご記入ください

3件の回答

司会者からの呼びかけのみであった。できれば、パネリスト同士での質問の時間があればよかった。

看護・看護の連絡書の活用がとても大切だと思いました。勤務医のころ他院に当直に行ったら役に立つのは看護記録だったりしましたし。

第1回に参加したときは、こんな難しい疾患は無理だと思いましたが、今回、実際に在宅診療されている先生の関わりをご講演いただき、前回よりは少しハードルが下がったように感じました。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

今回の研修会全体のご意見、ご感想をご記入下さい

14 件の回答

webなので参加しやすかったです。

実際の診療や活動を教えていただきイメージしやすかったです。

このように自宅でウェブで徐行できる研修会は貴重な学びの場になっている。今後とも続けてほしい。

研修会申し込み後から、細やかな案内を頂きありがとうございました。第一線でご活躍されておられる先生方のお話を伺えた貴重は会でした。

大変勉強になりました。

ダウン症の会、今回と参加させていただき、トランジションの大変さと大切さがよくわかった また、比較的元気な状態で移行期に病院へかかる機会がなかった際、成人移行に困る事があり、定期的通院の大切さも感じた 管理栄養士としては、栄養に問題がある患者さんでなければ定期的通院・支援に携わる機会が少ないが、何か協力できる事があるか考えるきっかけになった

満足

2回目の参加でしたが、どの演題も参考になりました。

研修の開催をありがとうございました。各先生方の発表は興味深く自分の知識になり学ぶ事が多くありました。

地域医療との連携として、クリニックや訪問診療で担っていただけた内容が具体的によく分かりました。こんなにも細分化し各施設を利用できることを知り、更にコーディネートする基幹病院の役割や移行期医療の準備について明確にしていく必要があると考えました。講演の中で紹介されました「ハートノート」が医療者と患者共通のサマリーとして活用できればいいですね。

病院の先生方がお忙しいことは百も承知ですが、24時間対応している在宅医といかに気軽に連絡を取り合っただけのかがキモになるように思いました。

患者家族の面談が急に入って研修を受けられなかったのが残念です。しかし、webなので、面談後はすぐ講義、ディスカッションをお聞きすることができました。ありがとうございます。

私たちが日々看護をしていく中で医師や病院等との連携の難しさを日々感じています。メールや電話、ファックス、MCS等のツールを使ったり工夫はしていますが情報が少ない中で葛藤することも多々あります。今回の全ての講演で学ばせていただいたことを参考に今後も在宅現場で奮闘していきたいと思えます。

緻密に準備をされた研修会だと思いました。今まで情報が届かなかったので、初めて参加しましたが、過去2回に参加できなかったことを後悔しています。

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

今後、移行期医療研修会で取り上げて欲しいテーマがあればご記入下さい

12 件の回答

重症心身障害児の移行期医療についても楽しみにしています。

重症心身障害者医療、特に、介護する保護者の高齢化に伴い出てくる問題点について深めてほしい。

連携の実際（病診併診、完全移行、病院複数科併診など）の例を挙げていただけたらと思います。

先天性心疾患児と学校心臓検診 さらに 学校心臓検診を卒業した時

移行に関連して、支援学校の先生、教育委員会の話を聞いてみたいです。

脳性麻痺の児など自身の意思が表出困難な児への移行期医療の進め方について取り上げてほしいです。

医療的ケア児、重症心身障害児・者の移行

重症心身障害児の移行について

少子高齢化時代、小児科単科開業医の成人診療科の抑えておきたい生涯学習のコツ

小児在宅患者の移行期医療をどうするべきか。

私はCHD児の看護を専門としていますので、今回のようなテーマは大変関心があり、続けていただきたいと思います。また、同時に、他の慢性疾患や、他の地域の状況も知りたいと思います。

ダウン症を含む、障害のある子供の地域への参加と就学、就職について

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

移行期医療に関して、お困りのことがあればご記入下さい

7 件の回答

重症心身障害者の受け入れ先がなかなかない。

私の地域では中々進まないと思います。

内科開業医との連携

疾患に対する患者本人の理解を進めるという意味で、年齢・発達段階に応じた教育、説明が大切だと思いました。既に思春期を過ぎている患者さんでは、内科移行が難しい方がいらっしゃると思います。また、知的障害を合併している事例では、小児科から内科に移行していくことが難しいと感じます。総合病院の内科はやはり専門科中心の診療であり、かかりつけ医と専門医の両者を紹介する必要がある。

中学生～高校生の小児患者が増えており移行期支援を進めていきたいと考えているが前例がなく、どこから進めればよいかわからない。

21トリソミーなど染色体異常など心外の基礎疾患がある患児の移行期医療。

小児科と成人診療科とディビジョン科と連携が取れる、ホームドクター診療（総合診療科とはチョットニュアンスが違う）があるといいと思います

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

大阪府移行期医療支援センターに期待することをご記入ください。

6 件の回答

移行期医療というテーマは難しい課題ですが、患者さん目線でぜひ実現していかなければと思う。今後とも小児科、内科などの「壁」を超えてスムーズに連携ができるように、コーディネーターとしての役目をしっかりと続けてほしい。

移行医療の情報発信を期待しています。制度の創設・変更やトピックをどこから得られるか、セミナーなどの案内などがあると、嬉しいです。

診察中に生じた問題に対する相談

情報発信

母子は特に移行期支援に力を入れていて目標になります。これからも定期的に発信して行ってほしいです。

非常に重要な議論をされていると思います，大変とは存じますが今後も継続を願います

# 第3回 大阪移行期医療研修会 報告

大阪移行期医療研修会に次回もご参加いただけますか

61 件の回答



- はい
- いいえ